

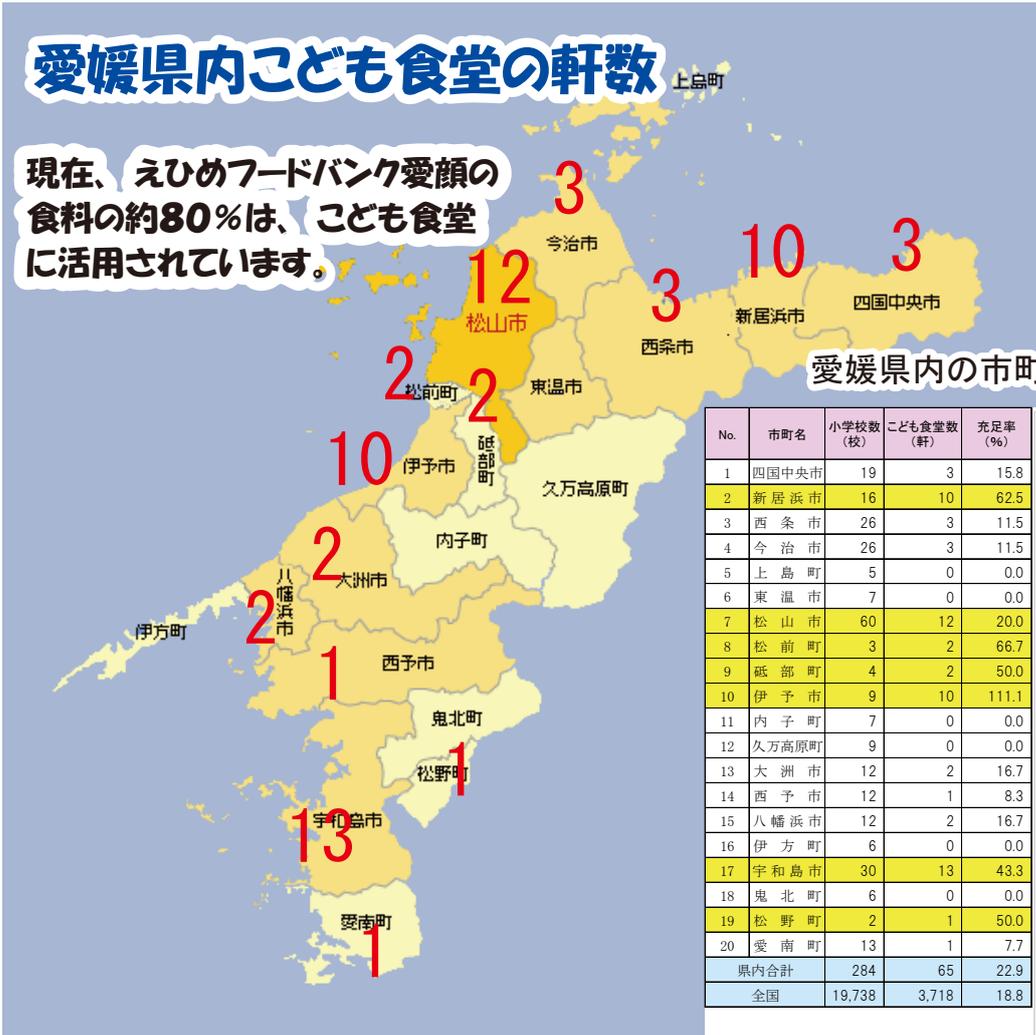
# フードバンクとこども食堂の連携

「こども食堂」という名称と活動は、2012年東京都大田区にある八百屋さんが始めた「気まぐれ八百屋だんだん こども食堂」がきっかけで全国に広がりました。「気まぐれ八百屋だんだん」の女将さんはこども食堂を「子どもが一人でも安心して来られる無料または低額の食堂」だと言っています（「広かれ、こども食堂の輪！全国ツアー 公式パンフレット」より）。  
 なので、現在、全国に広がっているこども食堂は、一人や姉妹兄弟だけで食事をしないといけない孤食の子どもたちや困難を抱える家庭の子どもたちを支援することだけが目的ではないようです。

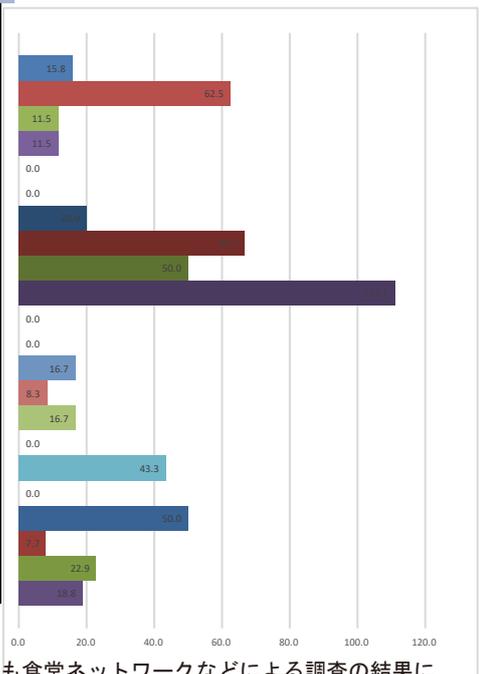
大人もお年寄りの方も、もちろん子どもたちも、地域のみんなで集まって、話しをしながら、手伝いもしながら、食事を楽しむ場になっているのが、現在のこども食堂です。

## 愛媛県内こども食堂の軒数

現在、えひめフードバンク愛媛の食料の約80%は、こども食堂に活用されています。



愛媛県内の市町別こども食堂充足率



## こども食堂の様子

2020年9月現在のえひめ地域こども食堂ネットワークなどによる調査の結果に基づいた表です。こども食堂が実施されていても、情報として入手できていないものもありますので、間違いがあればご容赦ください。



目の前で調理もします。

子供も大人も一緒に仲良く食事をします。



テイクアウト式で行列になることも。



フードバンクの食料を活用して、フードパントリーも行きます。